

藤嶺藤沢高校だより 10月号

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
Tel 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 香西 義之)

2023年10月16日(月)

高2研修旅行

高校2年生は、中間試験を一足早く終え、10月10日から14日まで研修旅行に出かけました。昨年に引き続き国内のみの3コース(沖縄、九州、四国)での実施となりました。本校ではこの行事を「修学旅行」ではなく「研修旅行」という名称で実施しています。もちろん観光しながら友人達とかけがえのない時間を過ごす時間を存分に楽しんで欲しいと思いますが、学びの要素をとり入れ、歴史や文化等を見聞きし、視野を広げ、新たな関心興味を見つけ出して欲しいという思いから「研修旅行」という名になっています。言うまでも無く、沖縄、長崎、四国(愛媛、香川、徳島)にはそれぞれ異なる歴史、文化的背景があります。メディアが発達しボーダーレスとなった時代であったとしても、同じ国内にも多様性があることを知るの大切だと思います。一方3コースに共通してあるものは平和学習です。四国コースではまず広島に入ってから四国への移動となっています。修学旅行で平和学習は定番中の定番ですが、一昨年までであれば戦争は現代社会では



遠い存在であったかもしれませんが、現在いわゆる「ウクライナ戦争」で核を後ろ盾にして相手国に侵攻するという状況を世界が目当たりしています。そのような中での広島・長崎は無論、沖縄戦の悲惨さを知った生徒達は以前の生徒達とは違った捉え方をしてくれたものと思います。歴史を知り、今を見て、生徒諸君には平和の大切さ、そしてそれを守るためには何が必要か改めて考えてほしいと思います。

余談ですが、私は人からなぜ英語教員になったのかと問われたら、ためらうことなく「世界平和のため」と答えます。自国の文化の価値を正しく評価した上で、他国の文化や風習を知りそれを理解して受け入れるには外国語の習得は欠かせないと考えるからです。藤嶺藤沢が茶道を必修にしながら国際理解教育を進める理由の一つがそこにあると私は考えています。

推薦会議

去る9月26日(火)に高校3年生にとって非常に大きな出来事がありました。そうです、推薦会議です。今、入試は多様化しており受験生には様々な受験のチャンスがあります。いわゆる年内入試として、学校推薦型選抜と呼ばれる指定校推薦と公募制推薦、そして総合型選抜と呼ばれるプレゼンや小論文等で合否が決まるタイプの入試があります。また、年内入試には自己推薦入試などもあります。それ以外の年明けに実施される選抜方式を一般入試と呼びます。

言うまでも無く今回の推薦会議で審議された対象は学校推薦型選抜を志願する生徒です。各大学

は年内入試の定員を増やし現在全体で一般入試と年内入試の比率はおよそ一対一となっています。本校生も昨年度年内入試で合格を勝ち取った生徒が50パーセントを超えました。

学校長推薦を得るには出欠や生活態度等も大事ですが、最も大切なものは評定平均です。評定平均とは高1から高3までの全科目の成績の平均です。高校受験でも内申点は大切でしたが、それは中2と中3の成績のみだったはずです。大学入試では一年生から大切です。大雑把に言って平均で3.8あればかなりの大学の基準を満たすことになります。しかし、高校では3年間で40科目近くありますので評定を0.1ポイント上げるには4科目で1あげなければなりません。ですから1年次から好成績を収めていないと後で取り返すのは大変ということです。そもそも評定基準を満たさなければ推薦の対象にならないので、今回推薦会議に名前が挙がった諸君はそれだけで立派と言えます。推薦を得られた人は、学校長が藤嶺藤沢を代表する生徒として自信を持って推薦できる生徒ということです。ただし、指定校推薦は先輩が頑張ってくれたから現役生に引き継がれたものということ、そして競合して推薦されなかった友人がいることを忘れずに大学入学後もしっかりと学業に取り組んでほしいと思います。また、残された高校生活においても責任ある行動を取って授業等に取り組んで欲しいと思います。今回推薦を得られなかった諸君は先ほど述べたようにまだチャンスはたくさんあります。推薦会議に名前が挙がる努力ができたならそのチャンスを必ず活かせると信じています。粘り強く自分の志望が叶えられるよう精進してください。

第94回藤嶺祭

新型コロナウイルスのためこの3年間、中止、バーチャル開催、そして食品販売無しの1日開催等制限を強いられてきた藤嶺祭ですが4年ぶりにフルスペックでの実施となります。文化祭実行委員達は制限無しでの開催経験がなく先輩達からの引き継ぎも少ない中、顧問であった森川先生への想いを胸にとにかく盛り上げて成功させようと奮闘しています。今回はサプライズ的な企画もあると伺っています。参加企画団体の皆さんはよく企画案を練りお客様を集め、そして文化祭実行委員に協力をして学校全体一致団結して今回の藤嶺祭が大成功となることを願っています。

【今後の主な行事予定(高校)】

10/17(火) [高3] 第2回ベネッセ駿台記述模試

10/19(木) [高1] 学林 (5・6限)

10/26(木)・27(金) 藤嶺祭準備

10/28(土)・29(日) 第94回藤嶺祭

10/30(月) 片付け

10/31(火) 振替休日

11/1(水) 朝礼

11/6(月) スペリングコンテスト (1限)

11/10(金) [高2] 総合学力テスト

11/11(土) 自宅学習日 (学校説明会)

11/13(月) [高1] 学林

11/14(火) [高全] 5・6時間目 弁論大会決勝

11/2(木)～11/22(水) 教育実習受け入れ

* 網掛けは行事予定表から変更になったものです。